

第613回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「わが町バンザイ（大船渡市三陸町編）」

平成28年9月21日（水）

（株）I B C 岩手放送

第613回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成28年9月21日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 小松 務 栗田 均

宮 順子 岩田 圭司

村井 康典 澤口 たまみ

畠山 俊彰

欠席委員の氏名 龍澤 尚孝

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

角掛 勝志 制作部ディレクター

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「わが町バンザイ (大船渡市三陸町編)」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 単に町の観光地や特産、名産の紹介番組かと先入観を持っていたが、いざ、番組を見たら訪れた地域の方々にスポットを当てたとてもほのぼのとした番組。新鮮な気持ちで一気に見ることができた。出演した皆さんが番組の存在を知っているということからしても、県民に親しまれている人気のある番組であることはすぐ認識できた。
- 当初からの取材スタイルの行き当たりばったりなりの退屈感とか、お店が閉まっていたとかアクシデント等がなく、構成が良く、1時間があっという間に見ることができた。神山、甲斐谷アナウンサーの話術などにより、うまく相手の特徴を引き出して、三陸町を身近に感じた。
- 22歳の漁師の青年が、いきなり取材に来られてもあれだけの楽しいやりとりができる姿に、頼もしく感じた。岩手県人の素朴さ心根の良さを残しつつ、上手に会話ができる人たちが増えていくのは良いこと。また、生きがいとかやりがいとか夢とかが、若者や漁師さんたちの番屋での出会いを通じてよく伝わった。
- 地域密着型がそのまま番組になったという感じで、ホラふき大会のおじいさんのストーリーがすごく面白いと思った。岩手の明るさ、ほのぼのとしたユーモア、関西のギャグとは違うようなところが全面に出ていて、もっとこういう番組が全国に流されると岩手のイメージがすごく変わるのではないかというくらい、おじいさんのキャラクターの印象は良かった。
- 後日、盛岡さんさ踊りに屋台を出しているシーンがあったが、そこに、取材に入ったアナウンサーも登場していればまた印象度が違ったのでは。日本一小さな本屋さんの場所や浜街道については、場所の説明があったほうが良かった。また、釣りに来ていた子どもがライフジャケットを付けている映像があったが、安全意識喚起のため一言触れた方が良かった。
- バランス、構成の良さ等、いろいろな人々の良さが伝わってくる番組だった。そういう岩手の元気な姿をダイジェストにするなどして全国にも発信してほしい。